

北海道自閉症協会主催

第2回コミュニケーションツールの活用術学習会



北海道自閉症協会では、昨年につき、「コミュニケーションツールの活用術に関する学習会」を以下の通り開催いたします。現代の日本では、フェイスブック、ライン、ツイッターをはじめとした、様々なコミュニケーションツールが普及しています。一方、発達障がいのある児童・生徒に対する特別支援教育の中でも、コミュニケーションや社会性をテーマとした学習が行われております。つきましては、発達障がいのある児童・生徒が、コミュニケーションを学習して行く中で、どのようにして、これらのコミュニケーションツールを活用していけばいいのか?そして、どのような点に注意が必要なのか?などについて、具体的な事例をご紹介いただき、グループワークも体験していきます。講師は、北海道札幌養護学校 小学部の郡司竜平先生です。

コミュニケーションツールを題材としながら、家族と学校の先生方、そして、様々な支援者の方々との連携のあり方についても、皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。たくさんの方々の参加をお待ち申し上げます。

○テーマ 「もうみんなやってる!?ICTを活用したコミュニケーション」

○講師 北海道札幌養護学校 小学部 郡司竜平先生

○日時 平成26年9月27日(土)14:00~16:00(受付は13:30~)

○場所 北方圏学術情報センターPORTO 5F 会議室 B

〒064-0801 札幌市中央区南1条西22丁目1番1号

<http://www.hokusho-u.ac.jp/studentlife/campusguide/porto/>

○参加費 500円(北海道自閉症協会会員)、800円(非会員)

○参加申込み 氏名・所属・連絡先を記載のうえ

北海道自閉症協会副会長 山瀬正己まで

E:mail supernova_0724ruby@yahoo.co.jp

FAX 011-669-6825

○定員 39名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

☆郡司竜平先生から一言☆

札幌養護学校の郡司です。Skep-S 学習会という自閉症教育の7つのキーポイントを学ぶ学習会の代表もしています。Skep-Sでは、7つのキーポイントを軸としながら、自閉症児・者の方々に必要な学びとは何かを有志で広く学習しています。今回は、「ICTを活用したコミュニケーション」について、私がこれまで取り組んできた実践の一端を皆さんにご紹介させていただく機会をいただきました。ご参加いただき皆さんでグループワークしながらデジタルツールとアナログツールの違い、それぞれのメリットなどを考えながら、よりより支援について考えるきっかけにいただければと考えています。

~~~~~  
【iOS 端末をお持ちの方は是非ご持参ください。】

アプリ【たすくコミュニケーション】の一例をお伝えする予定です】